

学校だより No.5

夏休みが終わり、2学期が始まりました。児童生徒一人一人が、どのようにこの夏休みを過ごしていたのかと思いを馳せます。その笑顔や元気な姿、楽しそうな会話が聞こえてくると、思い出に残る夏休みになってよかった、と教職員も笑顔になり一緒に会話の中に引き込まれています。一方心配な事情が生じた場合には、担任をはじめ教職員にご連絡、ご相談ください。

2学期は、就業体験実習や修学旅行、宿泊学習、学習発表会などの様々な学校行事が予定されています。ひとつひとつの行事を乗り越えることで児童生徒は成長できると信じています。そのためにも、引き続き保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力をいただきたくお願いいたします。

【第5回群馬県特別支援学校PTA協議会大会（特P協大会）について】

7月25日（金）に特P協大会が群馬県社会福祉総合センター（前橋市新前橋町）にて行われ、PTA会長様と出席しました。大会主題は、昨年と同じく「共に学び共に生きる社会にあって、今、私たちは何ができるか」でした。講演会と県内特別支援学校2校によるPTA活動の実践発表がありました。講演会では、群馬県ボッチャ協会事務局長様から「共生社会の構築に向けて～パラアスリートの成長から共生社会を考える～」という演題で講演を拝聴しました。ちょっとしたきっかけ、出会い、新たな挑戦に向けての一步を踏み出す勇気の大切さなど、実体験のお話がありとても参考になりました。実践発表では、県立二葉特別支援学校と群馬大学共同教育学部附属特別支援学校の発表担当者から、両校ともに保護者の負担を軽減しながらPTA活動を運営していく工夫を紹介していただき、こちらも参考になりました。

【ぐんまインクルーシブフェスタ2025の開催、参加について】

8月4日（月）イオンモール高崎のセントラルコートにおいて、ぐんまインクルーシブフェスタ2025が開催されました。本校は作業製品の販売という役割で高等部生徒4名、職員4名が参加しました。夏休み中ではありましたが、月曜日ということで販売開始の午前10時頃は来場者も学校関係者が中心で決して多くはありませんでした。ところが、正午を迎える頃から来場者も大勢となり、本校の作業製品も手に取っていただき、購入していただくことが増えました。午後2時までの販売の間、予想以上の売り上げとなり、生徒にとっても貴重な体験となりました。ご協力ありがとうございました。

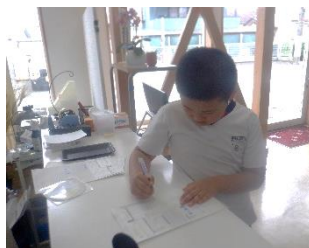
【小学部】

1学期に実施した生活単元学習や居住地校交流について紹介します。生活単元学習では、生活上の目標や課題に沿って、児童の興味や関心を踏まえながら計画された学習内容に取り組めます。

1・2年生は、「野菜を育てよう」という単元で、ミニトマトやなすを育てました。毎日水やりをしながら観察し、美味しそうに育った野菜を収穫することができました。

3・4年生は、「写真の注文や受け取りをしよう」という単元に取り組みました。学校近くにある写真店に行き、写真プリントの注文をしたり、代金を支払って写真を受け取ったりすることができました。

5・6年生は、「買い物に行こう」という単元で、愛タクに乗ってスーパーに買い物に行きました。愛タクの利用は初めてでしたが、落ち着いて乗ることができました。スーパーでも、好きなお菓子を選び、セルフレジで代金を支払うことができました。



2組の児童は、居住地校交流を行いました。居住地校交流は、児童の居住地にある小学校の児童と一緒に活動しながら交流します。2年生と4年生の児童が、それぞれ西小学校の同じ学年の児童と交流しました。歌や楽器の演奏を聴いたり、レクリエーションをして触れ合ったりしながら、楽しく交流することができました。

【中学部】

中学部の作業学習について紹介します。中学部では、「はたらくひとになるために」をテーマに様々な作業に取り組んでいます。

はたおりでは、二種類の織機を使って、布を織っています。織りだけでなく、縦糸張りやミシン、紐通しなども行い、織った布でバッグや巾着袋などを作っています。

園芸では、玄関前のプランターへの寄せ植え、野菜栽培などを行っています。人権の花では、種まきから植替え、地域の方への配付までを行いました。

缶つぶしでは、空き缶の洗浄、つぶしを行っています。空き缶の洗浄は、二人一組になり、協力しながら行っています。

また、アイロンビーズやビーズを使ってコースターやキーホルダー、ブレスレッドを作製しています。細かい作業ですが、集中して取り組む生徒が多い作業です。



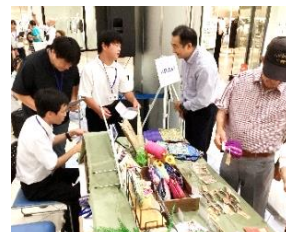
作業学習では、将来働くために必要となる基礎的な知識や技能を身に付けるだけでなく、できるだけ生徒同士で協力して取り組めるように活動を工夫しています。また、授業の終わりに振り返りを行い、一人一人が達成感や働く喜びを感じられるように支援をしています。

2組でもマリーゴールドの種をまき、育てました。友達や教師と協力して、水やりなどの世話をすることができました。



【高等部】

8月4日（月）、イオンモール高崎で行われた「インクルーシブフェスタ2025」に本校の生徒4名が参加し、作業製品の販売を行いました。特別支援学校の生徒と一般の高校生とがコラボした合唱やダンス等のステージ発表、VR技術を用いた発達障害の疑似体験、eスポーツ体験、トークイベントなど、様々な切り口でインクルーシブ教育に関する情報発信が行われ、たくさんの来場者で賑わいました。本校の作業製品も大変な好評をいただきました。



8月25日（月）には、ホテルメトロポリタン高崎で、県内の特別支援学校の生徒を対象とした「喫茶サービス・ビルメンテナンス研修」が行われました。本校からは5名の生徒が参加しました。現役のホテルマンから喫茶サービスの仕方を細かく教えていただいたり、ビルメンテナンス協会の方々から効率的な掃除機のかけ方を教わったりしました。



★高等部の看板を新しく設置しました★

高等部の東門から入ってすぐ正面の渡り廊下の窓に、「県立富岡特別支援学校 高等部」という看板を新調していただきました。表札を美しく保つことは「名が出る」、つまりよい評判が広まることに繋がり、大変縁起がよいと言われています。地域の皆様に本校のことをさらに知っていただき、今後もよい関係を築いていきたいという思いを込めて設置しました。これからも富特をどうぞよろしくお願いいたします！

